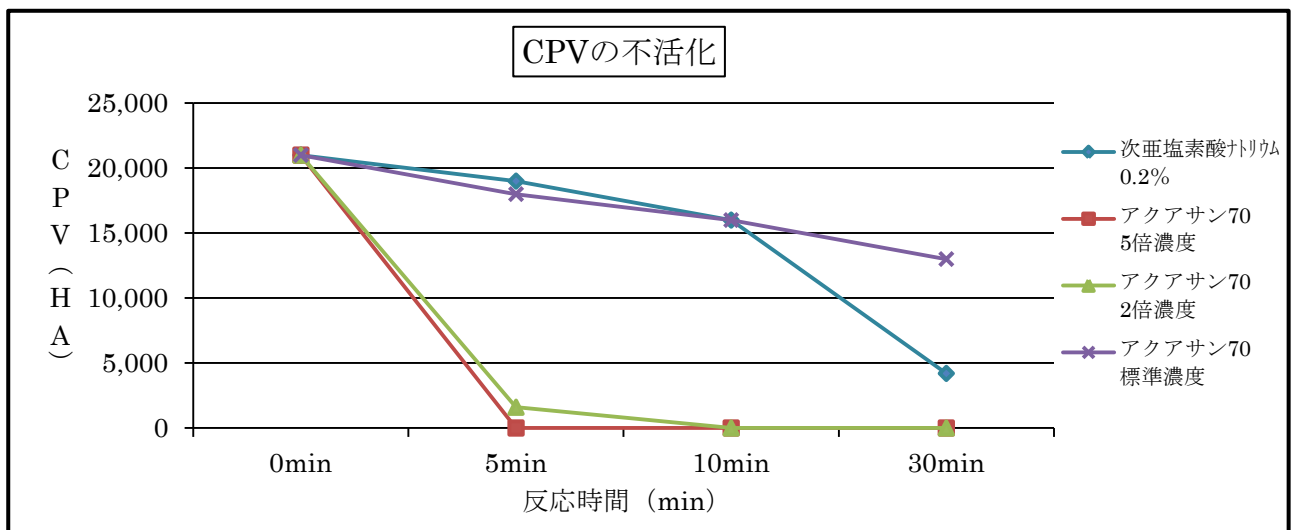


## 次亜塩素酸ナトリウム、アクア・サン 70 による CPV の不活化

### ●実験方法

CPV の不活化は消毒剤溶液（アクア・サン 70、次亜塩素酸ナトリウム）と CPV 溶液を等量混合することにより行った。アクア・サン 70 は反応系での最終濃度が標準、2 倍濃度および 5 倍濃度になるように、また次亜塩素酸ナトリウムは 0.2% になるようにそれぞれ調製した。CPV 溶液は反応系での最終濃度が 21,000HA になるように調製した。

反応時間は 5 分間、10 分間および 30 分間とした。チオ硫酸ナトリウム溶液を加えて反応を停止させた後、不活化されずに残った CPV を ELISA 法により測定した。



### ■消毒剤の CPV に対する効果■

【CPV : HA で表示】

	次亜塩素酸ナトリウム	アクア・サン 70		
	0.2%	5 倍濃度	2 倍濃度	標準濃度
0min	21,000	21,000	21,000	21,000
5min	19,000	感度以下	1,600	18,000
10min	16,000	感度以下	感度以下	16,000
30min	4,200	感度以下	感度以下	13,000

【CPV : 0min を 100% として表示】

	次亜塩素酸ナトリウム	アクア・サン 70		
	0.2%	5 倍濃度	2 倍濃度	標準濃度
0min	100	100	100	100
5min	90	感度以下	7.6	86
10min	76	感度以下	感度以下	76
30min	20	感度以下	感度以下	62